

3月11日の日本株の下落について

トランプ米政権への不透明感強まるも日本株の好環境継続を想定

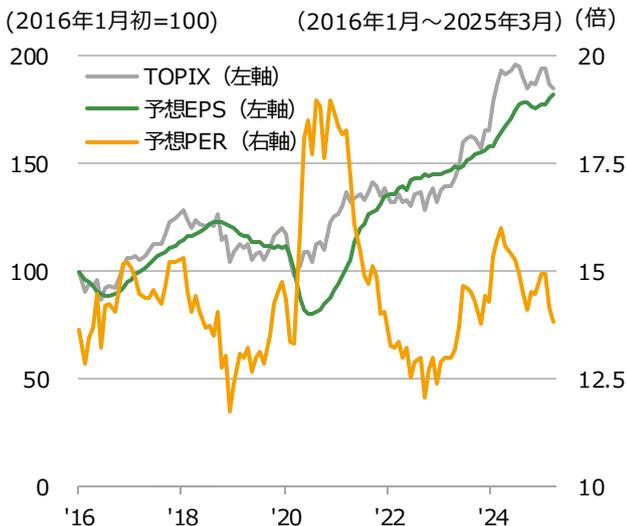
2025年3月11日

原油安、利下げ、減税が世界景気を下支え、日本株の好環境継続を想定

3月11日の日経平均株価は、前日の米国株急落の影響で一時的に前日比約1千円下落し、3万6千円割れとなりました。前場引け時点での前日比は日経平均株価が▲1.7%、TOPIXが▲2.0%となっています。トランプ米大統領がインタビューで関税引き上げや政府支出の大幅削減に伴う景気後退の可能性を否定しなかったことなどから、市場参加者の不安心理が高まり米国株が急落しました。実際、トランプ大統領就任後の経済指標は市場予想を下回って悪化するものが多いほか、関税引き上げや政府効率化省（DOGE）による歳出削減で先行きに対する不透明感が強まっています。また、日米金利差の縮小やトランプ大統領が円安に対して不満を述べたことで円高が進行したことも日本の株安要因となっています。

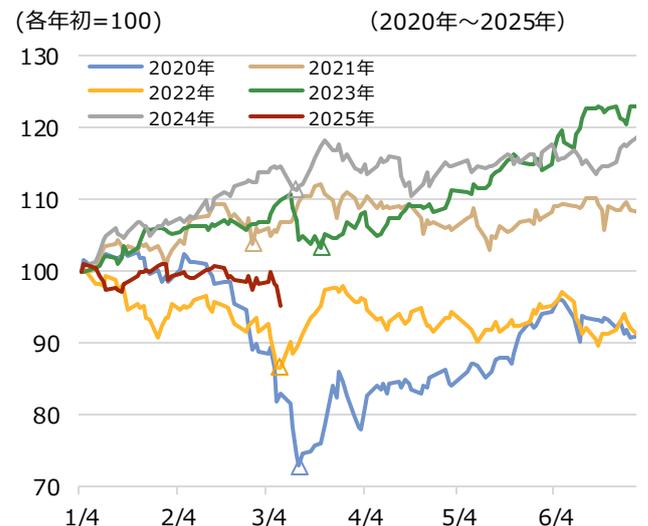
トランプ政権の政策による米国景気の一時的な悪化が懸念される状況ですが、原油価格の下落や各国の利下げ効果、10月以降に実施の可能性が高い米国の減税効果などから、世界景気が大崩れする状況にはないと考えます。日本企業の予想EPS（1株当たり利益）は拡大傾向にあり、株価下落で若干割安になったと思われるほか、かつてないほど旺盛な企業の株主還元拡大が株価を下支えすると見ています。日米の株価は共に例年3月第2金曜日の日本のメジャーSQ（特別清算値）算出日前後に安値をつける傾向があり、トランプ政権の政策の不透明感が解消するにつれて、徐々に悲観的な見方は後退すると想定しています。

TOPIXと予想EPS・PER



※月末値、2025年3月は11日前場の値
※予想EPS・PERは12カ月先予想
(出所) ブルームバーグより大和アセット作成

TOPIXの年初来推移



※2025年は3月11日前場まで。△は3月前後の安値
(出所) ブルームバーグより大和アセット作成

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目録見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management